

議 会 だ よ り

ご か せ

April
第 48 号
平成 30 年 4 月 10 日 発行



鞆岡小学校卒業式



坂本小学校卒業式



三ヶ所小学校卒業式



上組小学校卒業式

目 次

- 平成 30 年度予算 . . . P 2
- 平成 29 年度補正予算 . . . P 3
- 予算審査報告 . . . P 4～6
- 一般質問 . . . P 7～10
- 総括質疑 . . . P 11
- 議会活動 他 . . . P 12

平成30年 第1回五ヶ瀬町議会定例会

町議会は、第1回定例議会を3月6日に開会し、3月20日までの15日間の日程で行いました。

内容は、報告2件、人事案件2件、条例の制定2件、条例の一部改正7件、平成29年度補正予算5件、平成30年度当初予算7件、町道の認定及び廃止1件の計26件が上程され、審議採決の結果原案どおり承認されました。

平成30年一般会計予算

国・県の動向を見ながら、自らの計画が重要・・・!

総額 ▶ **35億9千300万円**

歳入	(千円)
町 税	294,146
交付税	1,800,000
国庫支出金	272,339
県支出金	502,266
町債他	724,249

歳出	(千円)
総務費	561,553
民生費	727,385
農林水産業費	641,889
教育費	302,353
土木費	280,424
商工費他	1,079,396

特別会計予算 (千円)

簡易水道事業特別会計	92,696
国民健康保険特別会計	599,948
国民健康保険病院事業会計	586,834
介護保険特別会計	504,150
後期高齢者医療特別会計	58,070
奨学金特別会計	1



貫原橋の橋梁工事

平成 29 年度一般会計補正予算を承認

(年度末を控え、各事務事業がほぼ確定しつつあるため・・・)

1億 8千750万円 を減額し、

43億 3千 850万円となる。

繰越明許費とは・・・

地方自治法の規定により、翌年度に繰り越して利用することのできる経費

繰越明許費総額 3億 6千 445万円

29年度事業で30年度に繰り越した主な事業	(千円)
農業費	
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	4, 873
団体営中山間地域総合整備事業	13, 000
道路橋りょう費	
社会資本総合整備交付金事業	22, 602
農林水産業施設災害復旧費	
現年発生農地農業用施設災害復旧費	105, 000
現年発生林業施設災害復旧費	18, 650
公共土木施設災害復旧費	
過年発生道路橋りょう災害復旧費	70, 710
現年発生道路橋りょう災害復旧費	129, 615

- 人事案件
- ・ 人権擁護委員候補者の推薦について
五ヶ瀬町大字三ヶ所8700番地 寺本 俊文氏
 - 五ヶ瀬町大字鞍岡2847番地イ 曾我部里美氏
- 条例の制定及び一部改正について
- ・ 五ヶ瀬町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に
関する基準等を定める条例の制定について
 - ・ 五ヶ瀬町佐伯勝元教育基金奨学金条例の制定について
条例の一部改正
 - ・ 五ヶ瀬町証人等に対する実費弁償に関する条例の一部
改正について
 - ・ 五ヶ瀬町特別会計設置条例の一部改正について
 - ・ 五ヶ瀬町国民健康保険税条例の一部改正について
 - ・ 五ヶ瀬町介護保険条例の一部改正について
 - ・ 五ヶ瀬町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並
びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的
な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正につ
いて
 - ・ 五ヶ瀬町地域包括支援センターにおける包括的支援事
業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の一部
改正について
 - ・ 五ヶ瀬町道路占用料徴収条例の一部改正について
- 町道の認定及び廃止について
- ・ 認定3路線
 - ・ 廃止1路線

予算審査報告書

文教福祉常任委員会

委員長

秋本良一

町民課

・町税（町民税・固定資産税・軽自動車税）

総額 2億9,414万円

・土地評価整備業務委託料 441万円

（今後、雑種地等の調査を行い、適正な評価を目的とするもの。平成32年度より、適正課税実施となる。）

委員会意見

町税等収納率向上対策委員会の努力で、収納率が上昇。公正公平な行政運営のため更なる努力を。

福祉課

・介護予防生活生きがい活動支援事業委託金

317万円

（高齢者の食事栄養バランスも考慮しての配食サービス。週3回から6回へと計画中。）

・電動式生ゴミ処理機・コンポスト容器購入助成

24万円

（家庭用生ゴミを粉碎し、乾燥して堆肥に。）

委員会意見

高齢者に優しい施策を。また、特定検診の受診率を上げ、保険料引き下げの努力を。



いちご会による配食サービス

教育委員会

・負担金補助及び交付金

5万円

（要保護・準要保護世帯に対する、高校生学時支度金。）

・大人のG授業 10万円

（18歳以上の大人を対象とした特別講演。）

・町史編さん業務委託料 244万円

（昭和56年に発刊された町史の続編となるもの。）

・校務用電算機器使用料 550万円

（小中学校職員が使用するパソコン導入経費。）

委員会意見

各学校の要望に対し予算化されている。全校職員室に空調施設が整備され、事務の効率化が図られる。町史編さんには、再調査が肝要。



リース期限が来たパソコン（教職員用）

国民健康保険特別会計

・納付金 1億1,845万円

（広域化に伴い県に納付する保険事業納付金。市町村毎に医療費水準等を基に県が決定するもの。）

委員会意見

保険業務は県に移行するものの、徴収業務は町が代行する。収入未済額が発生しないように努力を。

国民健康保険病院事業会計

・機械備品購入費 2,957万円

(デジタルX線テレビシステム・内視鏡・自動グリコヘモグロビン分析計の購入。より精度の高い医療に期待できる。)

委員会意見

地域医療構想の中で、広域連携は不可欠。医師・薬剤師の確保には、条件を整え効果的な対策を。また、長期に固定化している未収金については、内容を精査し何らかの対応を。



デジタルX線テレビシステム

奨学金特別会計

・この会計は、平成30年度より、佐伯勝元基金を活用して設けられたもの。大学に在学、または進学する学生に対し、経済的な経費の支援として奨学金を貸与することを目的としている。

委員会意見

十分に活用され、将来の五ヶ瀬町を担う人材確保等に反映されることを望みます。

予算審査報告書

総務農林常任委員会

委員長 綾 健一

総務課

○義務的経費 14億2,581万円

(一般職員の人件費及び共済費など。)

○新規 佐伯勝元教育基金を活用した奨学金特別会計が新設。

(有意義に活用され、町の発展に寄与されることを望む。)

○財産管理委託料 750万円

(庁舎建て替えに伴う基本計画策定業務や、実施設計精査業務委託料。)

○公債費は、平成14年度の10億8,456万5千円を、ピークに年々減少している、これは大規模事業が終了したこと、借入額を制御したこと、繰上償還を行ったことで財政改善が図られた。

企画課

○地域づくり支援事業補助金 420万円

(14行政区へ交付され、地域全体の活性化を目指すものです。有効活用が望まれる。)

○ふるさと応援寄付事業 600万円

(寄付金、2千万円を想定。)

○地方創生推進事業 642万円

(農泊推進事業アドバイザー謝金・人口減少対策・ワイナリー備品購入費などで、更に地域の発展に期待が持てます。)

○総合交通対策事業費 コミュニティバス運行委託料 2,624万円

(乗車率が減少傾向にあるなか、バスの小型化及び地域でのコミュニケーション等の対策を検討されることを望む。)

○商工振興費 第三セクター貸付金 3,000万円

(安定した経営へとさらに邁進されることを切望する。)

○森林公園費 工事請負費 1,382万円

(第一リフト鋼索交換工事費)

修繕料 547万円

(造雪機、降雪機、スノーモービルの修繕料。多くの施設が30年近く経過、計画的な整備が必要。)

農林課

○農地利用最適化交付金 103万円

(農業委員及び農地利用最適化推進委員の経費の交付金)

○中山間地域等直接支払交付金 6,899万円
(平成27年度～31年度(第4期)約462ha
であり、耕作放棄地の防止を目指している。)

○新規事業 「大地に絵を描く」高効率生産集
団支援事業補助金 256万円

（稲作生産利用機械の導入補助金で、乾燥機、
コンバインの導入に助成。）

○新規事業 産地パワーアップ事業補助金 496万円

（先進技術の導入で収量増加や産地拡大、乗用
摘採機・ぶどう生産棚・その他の補助金。）

○新規事業 五ヶ瀬町優良雌牛改良導入奨励事
業費 144万円

（町内雌牛導入を目指す、導入価格平均80万
円の10%を上限。18頭分）



せり市状況

○変更事業 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事
業費 1,336万円

（1頭当たりの捕獲に対する支給金、新規にア
ナグマ3,000円、カラス500円が追加さ
れた。）

○しいたけ等特用林産生産体制強化事業

1,268万円

（椎茸生産に係る各種設備費及び獣害対策資材
を導入する支援金。）

○災害復旧費 工事請負費 3,000万円

（平成28年度熊本大地震により被災した大石越線
の災害復旧費が計上されている。早期復旧を望
む。）

建設課

○県営中山間地域総合整備事業費（委託料） 401万円

（兼ヶ瀬地区基盤整備、営農飲雑用水 施設整
備実施計画作成委託料）

○中山間地域総合整備事業 工事請負費 1,501万円

（鞍岡古賀地区1号集落道・2号農道・4号用
水路の予算の計上です。）

○多面的機能支払交付金 1,240万円

（地域共同活動による農地や水路等の保全管理
を支援。今年度からは生コン代が支援の対象と
なっている。）

○社会資本整備総合交付金事業費 1億4,202万円

（坂狩ゝ内の口線・赤谷中央線で通学路対策や
落石対策、歩道設置工事。立壁ゝ高畑線で老朽
橋上部工事が計画されている。）

簡易水道特別会計

○委託料 1,651万円

（量水器検診・電気計装設備保守点検、新規に
施設監視委託業務員1名を雇用する。）

○工事請負費 3,550万円

（廻測簡易水道、桑野内簡易水道、土生給水管
移設工事、大石飲料水供給施設整備工事など
予算化されている、早期の完成を望みます。）

会計室

○利子及び配当金 24万円

（宮崎銀行株30,211株の配当金。歳出は
決算書等の印刷料39万8千円が計上されてい
ます。）

議会事務局

○今年度当初予算 5,744万円

（昨年度から37万6千円減。）

○議員報酬金 2,194万円



甲斐政国議員

ペーパーレス会議の導入について

町長 周囲の状況を見つつ検討。

問 ICTの普及に伴い、会議においてペーパーを使用せず、タブレット端末を利用したペーパーレス会議が行われている。全国の議会においても徐々に導入されており、その必要性も感じられる。本町として、どのように理解され取り組まれるか。

町長 会議におけるコストの削減、資料作成労力の軽減等メリットがあることは理解している。一方では、慣れるまで不便を感じたり、システム障害のリスク等心配もある。大きな自治体から徐々に導入されている状況かと思っており、本町のような小規模自治体では、導入することによる業務の効率化や町民サービスの向上やどう結びつくか、周囲の状況も見つつ検討すべきかと思っている。

教職員住宅の整備について

教育長 長寿命化を図り、施設保有量の最適化を進める。

問 教職員住宅の中には、建築後30年以上経過したものもあり、居住環境にも問題があると思われる。耐用年数を超えた教職員住宅を、どのように整備されるか。

住宅は、建て替えるのではなくリフォームを行い、教職員の皆様が少ないでも快適な生活が送れるよう努める。住宅改修の要望調査は、毎年5月に実施している。

教育長 教職員住宅の現状は、全部で46戸である。その中で建築後30年以上経過したものが17戸あり、最も古いものは貫原住宅2棟が37年経過している。耐用年数を経過した住宅は26戸、全体の56.5%であり、修繕費も年々増加している状況にある。今後の整備については、「公共施設等総合管理計画」に基づき進める。人口減少や少子高齢化が進行し、利用者の減少・扶助費等公共サービス需要の増加が見



教職員住宅（37年が経過）

町長

省エネルギー対策の一環でもあります。今後様々な研修会等にも前向きに参加しながら情報を収集し議論を重ねたい。



タブレット活用セミナー

問 第5次五ヶ瀬町総合計画の中の「健全な行政運営の推進」というところで、「業務効果を前提とした情報化を推進する」とあります。また、五ヶ瀬町地球温暖化対策実行計画の中には、「低炭素社会の実現を目指し、自らの責任において、省エネ・省資源などの様々な対策を積極的に推進する」ともあります。資料の簡略化や共有化、庁内情報システムの有効利用等を含め、計画達成に向けタブレットの活用は重要と考えるが。

町長 ICT関係は、行革とか当面直結する光ケーブル・ホームページ更新等に全力を投入してきた。ペーパーレス会議・タブレット端末導入については、膨大な資料に管理等を含め様々なメリットがあり、効果

一般質問



秋本良一議員

次世代を担う職員の育成は

町長 人材育成基本方針に基づき進める。

子ども議会の開催は

町長 「五ヶ瀬町デザインプロジェクト」にて町に提言。

「五ヶ瀬町デザインプロジェクト」にて町に提言。

問 高齢化社会及び人口減少への課題解決には、次世代を担う人材とそれを發揮できる環境が求められると思うが。

町長 職員自身の主体的取り組みと自己啓発、職種及び階層等に応じた研修の充実、若い職員には地域活動を通しての成長に期待する。

問 「町はどう進むのかわかりづらい」との声を聞く。一つの手段として、職員のスピーチコンテストを実施し、目指す五ヶ瀬瀬像について発表・精査し、実現可能な内容には「賞」等を呈示することで、方向性の参考に。また、職員の間を促す施策に繋がらないか。

町長 青年の主張等で若い職員が発表、優秀な職員が育っている。また、地域との関わりを通してリーダーとなることを期待している。

問 次期町政への意欲を聞いているが、農林業従事者の人材育成についてどう考えるか。

町長 基幹産業である農林業の人材育成は特に重視。経営安定を目指したプロジェクトチームを設置し、改善を図っていく。



職員研修

問 五ヶ瀬町の子ども達は、G授業での教育もあり、町の課題を自らの課題と捉え学んでいる。子ども達の意見を聞き町づくりに活かすことにより、町政にも関心を深めると思うが。

町長 中学生の若い考えを町づくりに活かしていく「五ヶ瀬町デザインプロジェクト」にて町に提言している。G授業の取り組みや体験活動を紹介するリーフレットを特産品等に添え、町外にもアピールしたいと考えている。

問 高森町では、子ども議会提案で横断歩道信号機歩行時間の改善。台東区子ども議会ではインドより上野動物園にゾウを贈って貰った事例もあり、子ども目線が町づくりに大きな成果をあげている。教育長の考えは。

教育長 子ども目線は大事であると考えているが、現在G授業も含め教職員は多忙であり、子ども議会開催は厳しい状況である。



議場



甲斐松男議員

道の駅構想について

町長

九州中央自動車道「蘇陽」高千穂間ルート決定によりプロジェクトチーム活動開始。

問 平成29年度に、道の駅構想に関するプロジェクトチームの立ち上げがなされ、一歩進んだ検討ができていられると思われる。プロジェクトチームの組織内容、具体的な取り組み及び、中央道ルート決定での道の駅経済効果の見通しは。

町長 プロジェクトチームの構成は、国交省所管の道の駅であるので、企画課・建設課・農林課・総務課等関係課長とグループ長で組織した。

取り組みとして、国交省延岡国道河川事務所等による研修、県内の道の駅を視察するなど、勉強会からスタートした。中央道の中間に位置するので、他にない地域

振興策になるし、町内の商工観光の拠点施設にもなる。六次産業化をはじめ、様々なメリットが生まれると期待している。

ただ、蘇陽「高千穂間」でのインターチェンジの位置や、特産センターや五ヶ瀬ワイナリーとの関係、役場・町民センターの耐震化の問題に財源・制度事業との関係など、多岐に亘る課題を抱えての構想なので、今後様々な意見聴取や検討を重ね進めていく。

問 町の特産物や観光資源を活かして人を呼び込み、地域に仕事を生み出すなど、核となる町独自の道の駅が望まれる。地域創生の拠点となる

る先進的な取り組みをし、モデル的な「道の駅」の機能強化を、計画段階から、総合的に進めて欲しい。

町長 まずは、情報を収集し、より具体的な構想を進めていく。



道の駅清和



佐藤成志議員

五ヶ瀬ワイナリー施設整備について

町長

九州中央自動車道・木地屋・特産センターや道の駅など、総合的に考えた整備計画を検討する。

沿線にある五ヶ瀬ワイナリーには現在の数倍の観光客が来る予想される。しかし、現施設では対応に限界がある。特に、大型バス駐車場を含めレストランなどについては、道路が開通する前に準備が整うことが必要と思うが。

問 県道8号線「土生」夕塩線、土生工区は30年度には工事着工となり、数年後には「新社の瀬大橋」(仮称)が完成となる。

町長 夕塩・土生工区が全線開通となれば、国道325号線・国道218号線からの観光客の移動が大きく様変わりすると考える。レストランが手狭になることは十分考えられる。全線開通までにはしばらく期間があるので、

問 大きく増える観光客に対し、ワインの供給は大丈夫なのか。生産能力は25万本であるが、現在の面積では13万本くらいである。ぶどう生産農家を増やす対策も、今から取っておかないと間に合わないと思うが。

町長 生産計画をつくり、5年後10年後を見越した生産者の確保、圃場確保することを進めていく。25万本とかの計画については、具体的な生産体制づくりには至っていない。今後、中央道の完成などでどれだけの流入人口が増えるかなど、しっかりとしたシミュレーションを取った上で、調査研究をしながに進めていきたい。



五ヶ瀬ワイナリー



白瀬徹哉議員

庁舎建設基本構想について

町長 組織を立ち上げ、検討。

問 新庁舎完成までの時間的制約の中で、町民への配慮は。

町長

専門家の意見から、耐震補強が難しいこと、補強ができたとしても、町民へのサービス機能向上が見込めないこと、熊本地震を受け、国の支援策が設けられたこと等、総合的な見地から建設を判断。

建設スケジュール案については、県等専門部所からも問題ないとの意見を頂いている。現在、パブリックコメントを実施しており、基本計画段階では町民を含めた組織を立ち上げ、機能を含め十分検討する。

問 検討組織の中に、役場職員を含めた若者の意見を反映させてはどうか。

町長

詳細については未定、早急に立ち上げる。ご指摘の件も含め、機関組織の代表者等を検討している。

町長

複合的な課題解決が迫られている。現段階では、防災拠点施設の観点から、庁舎を最優先すべきと考える。

問

庁舎建設以外の敷地造成、解体費等の財源は。

総務課長

制度事業を入れながら、起債事業を活用。起債事業で充てられない部分は、基金活用を考えている。

問

町民センターの方向性、道の駅構想も具 thể化することが予想されるが、財政状況からどう判断するか。

町長

住民アンケートで情報は把握している。付加できる施設については付加し、森林交流館や北部信用組合跡地の活用についても併せて検討する。

問

様々な機能を分けながら、新庁舎に図書館等の機能を、道の駅に町民ホールを設けるなど、一体化し削減に努められては。

=シリーズ= 話題あれこれ

宮崎県民総合スポーツ祭開催

第11回宮崎県民総合スポーツ祭(スキー・スノーボードの部)が、平成30年2月18日に五ヶ瀬ハイランドスキー場で開催されました。

選手・役員約50名の参加があり、天候にも恵まれ風もなく素晴らしいコンディションの中、市郡対抗では西臼杵郡が11度目の連覇。また、個人の部でも西臼杵が優秀な成績をおさめました。

閉会式では、宮崎県体育協会の黒島原朱美先生による講評があり、「次年度へ繋ぐ意義ある大会であり、多くの選手参加に期待したい。」と締められ閉会となりました。



スキー競技

議会からのお知らせ

五ヶ瀬町議会では、町民の方々のお話を聞き意見を交わす、「意見交換会」を実施したいと考えています。農林業関係・婦人会・青年団・建設業・商工会・各集落等お気軽に申し込み下さい。

場合によっては、こちらからご連絡させて頂くこともございますのでよろしくお願いたします。

連絡先 五ヶ瀬町議会事務局 電話 82-1711

総括質疑

Q 防災無線のデジタル化について。

A アナログ無線のデジタル化を国の指示に基づき行う。交付金を活用し32年までには行う予定。



現在の防災無線

Q 森林環境税が導入されるが本年度から事業開始なのか。

A 平成31年度から事業実施となる。事業主体は市町村である。

Q 町有林管理業務委託料・姉妹町記念交換林植樹業務委託料とは。

A 町有林管理業務については森林組合に委託。姉妹町の新得町と盟約から30周年に当たる為、記念行事として互いに伐採し記念行事に当て、植林すると言う事業。

Q 観光費の中の工事請負費の内訳は。また、森林公園事業費修繕料及び工事請負費内訳は。

A 観光費の分はワイナリー工場の設備整備工事他、森林公園費の分はスキー場が主な費用で造雪機、降雪機等の修繕。工事請負費は第1リフトの鋼索交換などである。



第一リフト

Q 社会教育費の工事請負費は。

A 木地師の資料展示をする為に資料館の一部工事と、荒踊の館トイレ改修。

Q 椎茸生産対策支援事業補助金の内訳は。

A 椎茸種駒の購入助成である、これまでは2万個以上が補助対象であったのが、今年度から5万個以上となった。



播種された原木

Q 高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会負担金とは。

A 世界農業遺産事務局運営費であり、高千穂町が事務局で県と5町村で負担している。

Q 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金とは。

A 例年同様の猪・鹿に加え本年度から、カラスに500円×200羽、アナグマ3000円×100頭分が追加された。



群がるカラス

Q 五ヶ瀬町奨学金特別会計予算の確認。奨学金の活用が計画どおり進まない時の見直しは。

A 奨学金についてはこれから始まるので、どの程度申し込みがあるか解らない。5年～10年単位で見直しをする。

Q 総合交通対策事業費の中で備品購入費が高額だが。

A コミュニバスの耐応年数が過ぎているので買い替えを計画した。助成事業なので可否は未定である。

議
会
活
動

平成30年 議会活動

1月行事

- 4日 仕事初め 議会全員協議会・商工会新春交歓会
- 5日 消防始式（Gドーム）
- 22日 郡森林・林業活性化協議会視察（美郷町）
- 23日 行財政改革特別委員会（ハイランドスキー場）
NTTフレッツ光デモ（第一会議室）
議会運営委員会（委員会室）
- 30日 行政視察（高原町「農事法人はなどう」）
- 31日 県庁挨拶回り（県庁）・郡議長会定例会（新富町）
時局講演会（新富町）

2月行事

- 7日 西臼杵郡議長会提言活動（九州地方整備局）

3月行事

- 6日 議会運営委員会・第1回五ヶ瀬町議会定例会（初日）
- 8日 議会運営委員会・第1回五ヶ瀬町議会定例会（総括質疑）
常任委員会予算審査・行財政改革特別委員会
- 9日 常任委員会予算審査
- 12日 常任委員会予算審査・ダブレット活用セミナー
- 15日 議会運営委員会・第1回五ヶ瀬町議会定例会（一般質問）
- 16日 五ヶ瀬中学校卒業式（五ヶ瀬中学校体育館）
- 20日 議会運営委員会・第1回五ヶ瀬町議会定例会（最終日）
- 22日 町内小学校卒業式
- 26日 竹田・五ヶ瀬線整備促進総決起大会（ぬくもり体育館）



永年表彰 20年以上
平塚啓祐議員



永年表彰 12年以上
小笠まゆみ議員

九州中央自動車道

『五ヶ瀬～高千穂』間事業化決定！

＝ 9,000万円予算つく ＝

平成30年4月4日関係者により
セレモニーが五ヶ瀬ドームで行われ
ました。



くす玉開披

編集後記

新緑の季節となり、初夏の薫りが遠くに漂う今日この頃。今年の冬は例年になく冷え込んでいたので、なおのこと一日も早く温かくなるのを心待ちにしています。毎朝天気を気にしながら、一雨も降らないと困るし、台風や豪雨は避けて欲しい。自然の流れとはいえ、天候が生活に大きく左右することを切に感じながら、また一方で、自然の力が私たちに与えるのだと感じたり…。振り返ると、二年続きの台風や集中豪雨での甚大な被害の発生があり、今年こそは平穏無事、豊作の年であることを祈りたいものです。また明るい話題では、悲願の九州中央自動車道の計画路線発表（五ヶ瀬～高千穂間・9.2km）がありました。早期実現に向けて、町民の皆様と一丸となって取り組んで参ります。さて、今回の取材にて、「いちごの会」（配食サービス）の皆様のご苦勞と重要性を改めて感じたところで、町の支えとなり、活動されていることに心から感謝し、取材に協力頂いたところから、議会だよりご愛読の程よろしくお願致します。

発行責任者

議長 長 小笠 まゆみ

議会広報編集委員会

- 委員長 甲斐 政國
- 副委員長 佐藤 成志
- 委員 綾 健一
- 委員 秋本 良一

どうぞ、傍聴席へ
次の定例会は30年6月開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局
へお尋ね下さい。
●議会事務局 番八二一七二